

■活躍する卒業生



大澤 ちほさん (平成22年3月卒業)

経歴

1992年生まれ。

苫小牧東高等学校、苫小牧駒澤大学卒業後、株式会社ダイナックス入社。
アイスホッケー女子日本代表として、U18世界大会出場3回、世界選手権出場6回、アジア大会出場2回、オリンピック最終予選出場3回、オリンピック出場2回(2014ソチ・2018平昌主将)。

私の志望理由は、“制服がない学校”という安易なものでしたが、入学してみると魅力に溢れた学校で、本当に楽しい3年間を過ごすことができ、校風として掲げられている自主自律と文武両道の精神は、自然とここで学びました。

在学中は、夢や目標に向かって努力している多種多様な同級生・先輩後輩・先生たちが周りにいて、たくさんの刺激を受けていた毎日でした。周りのみんなのおかげもあり、在学中からアイスホッケー日本代表としてプレーすることができ、高校3年間は自分の人生にとって、自分自身を成長させてくれた貴重な時間だったと感じています。

卒業した今でも、東高関係者とは繋がりも多く、いつ誰に会っても暖かい雰囲気になれるところも東高の魅力の一つだと思います。

偉大な先輩方がたくさんいるここ東高の卒業生であることは、私にとって誇りですが、私も後輩や先輩卒業生の皆様に刺激を与えられるような人間になれるよう、これからも努力していきたいと思います。

木戸 力斗くん (平成31年3月卒業)



北海道大学 法学部

苫小牧市立和光中学校出身

ガタ高はとても自由な学校です。勉強だけ頑張るのではなくて、部活も、行事も、それ以外のこと、すべて全力で取り組むことができる学校です。

だから、小さなことで良いので、色々なことに挑戦してみてください。ガタ高でしかできないこともあると思います。もし困ったことがあれば、先生方がサポートしてくれるので、先生を頼りましょう。

あと、ガタ高の行事はとても盛り上がります。思う存分楽しんでください。学校祭とかで、仲間と一緒に何かをつくり上げたり、賞を取れるように努力したりすることはとても貴重な経験で、思い出に残るからです。

最後に、ガタ高はとても明るくて、たくさんの経験をすることができる学校です。皆さんもガタ高生活を満喫してください！

後藤 優花さん (令和2年3月卒業)

北海道大学 文学部

苫小牧市立明野中学校出身

ガタ高は勉強や部活だけではなく行事にも全力で取り組む学校なので、1つ1つの行事がとても充実しています。学校祭ではクラス企画を自分たちで1から考えたり、夏季体育大会や冬季体育大会では種目をアンケートで決めたり…などの行事も思い出がたくさんできます。

また、部活や勉強だけではなく、日常生活でも刺激をくれるたくさんの仲間や、困ったときに全力でサポートしてくださる先生方に出会うことができるというのもガタ高の魅力だと思います。

わたしは正直、なんとなくガタ高を選びました。ですが、卒業する時には「ガタで本当に良かった」と思うくらいガタ高が大好きになりました。それくらい魅力にあふれた学校です。

人生で1度しかない高校生活、ガタ高なら「全部楽しみたい」が実現できると思います！

